

金沢市従労NEWS

組合設立:1946年 組合本部所在地:〒921-8026 石川県金沢市糸田新町1-30

打出ism うち~Voice

石川県議会議員 打出 喜代文 Second time/ 2021



Q1 コロナ禍が完全収束したら「真っ先に」議員として行きたい場所がありますか？

また、プライベートで行きたい(オススメのお店)場所もあれば是非教えてください!!

コロナ以前は、地元小立野以外でも能登や金沢の祭りに参加させていただき、地域の皆さんとキリコを担いできました。地域の皆さんとご一緒に、力を合わせて祭りを盛り上げることで、地域の皆さんの想いや地域の課題を共有できるとても良い機会でしたが、コロナ禍の影響を受け2年間、こうした機会がなくなったことは、本当に残念でなりません。

コロナ禍が完全収束したならば、真っ先に、こうした祭りに参加させていただければ嬉しいです。組合員の皆さまの地元でお祭りがあれば、ぜひ、お声掛けください!

＜オススメのお店＞

おでんの若葉、天ぶら酒場兎一、やきとり大吉小立野店など、地元小立野・石引にはおいしいお店がたくさんあります。申請のお手伝いをさせていただき、「いしかわ新型コロナウイルス対策認証制度」の認証施設になっていますので、ご家族・ご友人と、ぜひお越しください。

Q2 次期「石川県知事選挙」に県民の関心が集まっていますが、どのように見えていますか？

来年3月には、石川県知事選挙があります。コロナ対策を含め、県民の皆さんの命と暮らしを守るため、知事は大変重要な役割を果たしており、県民の関心が高まっているのは、とても良いことだと思います。

しかし、10月31日投開票があった衆議院議員総選挙の金沢市における投票率は52.2%と約半数の市民の皆さんは投票しておらず、前回の知事選挙にいたっては、約7割の市民の皆さんが投票していません。

『あなたの一票が政治を動かします!!』

組合員の皆さまには、各候補者の政策・主張をご覧いただき、ぜひ、棄権することなく投票していただきたいと思います。



重要 Point

～何事にも全身全霊で立ち向かう打出議員の「打出ism」を聞いてみた!!～



Q3 石川県内における「コロナ対策」として、これまでの良かった点・反省点がありますか？

石川県の「コロナ対策」は、全体的にみると他県に負けていないものであったと受け止めています。例えば、宿泊療養施設については、さらなる感染拡大に備えるため、2棟目が確保され560床体制となっており、これは、北信越（新潟、富山、石川、福井、長野）で1番充実したものとなっています。

また、人口10万人当たりの累計感染者数は、全国で多いほうから26番目となっていますが、直近1週間の新規感染者数でみると、富山、福井よりも少ない全国31番目となっています。

東京都の小池知事や大阪府の吉村知事は、メディアへの露出も多く、取り組みを評価する声もお伺いいたしますが、東京都の人口10万人当たりの累計感染者数は石川県の3.9倍、大阪府の人口10万人当たりの累計感染者数は石川県の3.3倍です。(いずれも11月4日現在)

反省点としては、議会や委員会でも指摘しましたが、県からの情報発信が弱かったことがあげられると考えます。また、多くの県民の皆さまもお感じになったことと思いますが、発生当初は、誤解を生じかねない発言が散見されたことも、大いに反省すべき点です。

Q4 今現在、ハマってる「打出議員イチョン!!」は何かありますか？

コロナ禍の中ではありますが、次男の少年サッカーの審判をさせていただいています。そうした関係もあり、石川県少年サッカー連盟参加の任もお預かりしていますが、スポーツを通じて子どもたちの成長を感じることができる、とても良い機会となっています。

運動不足の私には、猛暑の中での審判はキツイものもありますが…。子どもたちの頑張りに負けないように努めていきます!

また、地域の皆さんと交流することも、とても楽しいひと時です。消防団やPTAを含め地域活動も、リフレッシュの大事な時間になっています。



Q5 打出議員の視点から見た「2021県議会」での裏話(これは!!話)は何かありますか？

自治労の、働く仲間の皆さまの代表として、県議会議員の任をお預かりし、一番感じていることは、そうした代表が議席をお預かりすることによって、自民党を含め他会派の議員の方も、地方公務員に対してご配慮いただけるということです。

例を1つあげると、8月の総務企画県民委員会で、自民党会派の議員の方から、「長引くコロナ禍の中、いつ終わるとも分からないため、ストレスを感じるのは当たり前だ」と思います。保健所の職員や公立病院の方々、特に健康福祉部の職員は、恐らく大変なストレスを感じていて、疲労やストレスが蓄積されていると思います。そ

ういう中で、最前線の県の職員がストレスで潰れてしまったら大変だと思います。県としてどのような取組をしているか。それから今後、潰れないためにどのような取組をしていくのか、お聞きします。」との発言がありました。

自治労組合員の皆さまの職場を守るためには、組織内議員が必要であることを組合員の皆さまと共有できるよう、これからも取り組みを進めます。

Q6 金沢市従労組に「元気を与える力強い・熱きメッセージ」を一言!!

コロナ禍の中、組合員の皆さまは、仕事についても、生活についても、これまでとは異なるストレスを感じながらの毎日を過ごされているものと思います。生活環境を守るため危険と隣り合わせで職務に精励されている市従労組合員の皆さまは、社会インフラを守るまさにエッセンシャルワーカーの皆さまです。

こんな時だからこそ、組合活動の重要性は高まるばかりです。皆さまの職場を守るたたかい、生活を守るたたかいに勝利するためには、執行部を支える組合員お一人お一人の行動が必要です。

私も 市従労の皆さまとともに、歩みを進めていく決意です。

これからも、ご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。

